

令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 地域包括ケア課
 担当名: 地域包括ケア担当
 内線: 3256
 (単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B16	地域包括ケアシステム構築促進事業		一般会計	民生費	社会福祉費	老人福祉費	介護保険制度推進事業費		
事業期間	平成27年度～ 令和7年度	根拠法令	介護保険法第5条第2項、第115条の45の10第3項、第120条の2第2項		宣言項目	02 健康・医療・介護の安心確保			
					分野施策	010205 地域で高齢者が安心して暮らせる社会づくり			
1 事業の概要			5 事業説明						
市町村が地域支援事業を効果的に実施できるよう支援することにより、市町村の地域包括ケアシステムの構築を促進する。 (1)地域ケア会議立上げ支援事業 17,217千円 (2)介護予防事業 7,989千円 (3)生活支援体制整備促進事業 23,833千円 (4)地域包括ケアシステム支援事業 13,360千円 【2月補正の概要】 一般財源を特定財源（保険者機能強化推進交付金）に財源更正する。			(1)事業内容 ア 地域ケア会議立上げ支援事業 17,217千円 ・地域ケア会議専門員の派遣による立上げ支援（29市町村×10回） ・地域ケア会議コーディネーターマニュアルの作成（随時） ・地域ケア会議コーディネーター研修（年2回） ・事業所向け自立支援マニュアル作成（随時） ・自立支援型ケアプラン実践研修（年2回）、自立支援型アセスメント研修（年2回）、自立支援型地域ケア会議助言者研修（年3回）、事業所向け自立支援研修（年2回） イ 介護予防事業 7,989千円 市町村介護予防事業アドバイザー連絡会議 ・各市町村で介護予防事業に関する助言指導等を行うリハビリ専門職連絡会の開催（年4回） ・市町村介護予防事業研修に講師等としてリハビリ専門職を派遣（全体会年2回、4地域別×2回） ・介護予防セルフチェックの手引の作成（随時） ウ 生活支援体制整備促進事業 23,833千円 生活支援アドバイザーの配置（常勤職員換算1.5人） ・生活支援コーディネーター養成研修（1回）、課題別研修（3回）、合同研修（2回）、現場視察研修（3回）、ブロック別連絡会議（2回×4か所）、指導者養成研修（1回） ・市町村集中支援（15市町村×10日）、生活支援マニュアル更新 ・生活支援に係る企業等との連携研修・交流会（各年1回） エ 地域包括ケアシステム支援事業 13,360千円 ・全体支援：地域包括ケア推進会議（情報交換会）（年1回）、在宅医療・介護連携推進事業研修（年1回）等 ・圏域別支援：圏域別会議への職員の派遣（随時） ・県民向け情報発信：自立支援普及啓発ツールの開発 ・地域包括ケアシステムモデル事業成果報告会 (2)事業計画 ア 平成32年度末までに全市町村で自立支援型地域ケア会議の定期的な実施及びモニタリング会議の実施 イ 平成32年度末までに住民の参加による地域ごとの協議の場の設置及び定期的な話合いの実施 【2月補正の概要】 一般財源を特定財源（保険者機能強化推進交付金）に財源更正する。						
2 事業主体及び負担区分									
(1)国、県 (2)国、県 (3)国（10/10） (4)国、県									
3 地方財政措置の状況									
なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×6人=57,000千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	繰入金	諸収入					
決定額	0	2,952					△2,952	62,399	
現計額	62,399	12,326	36,952	3			13,118		